

# 電気情報工学科

Department of Electrical and Computer Engineering

## コース制・少人数教育と「ものづくりコンテスト」で実践的な電気電子・情報技術者を育成

現代社会に無くてはならない「電気エネルギーを生み出す発電」「青色LED」「電気自動車」「スマートフォン」などなど…に必要不可欠な「電気電子技術」から「情報通信技術」まで精通した実践的技術者を育成する学科です。

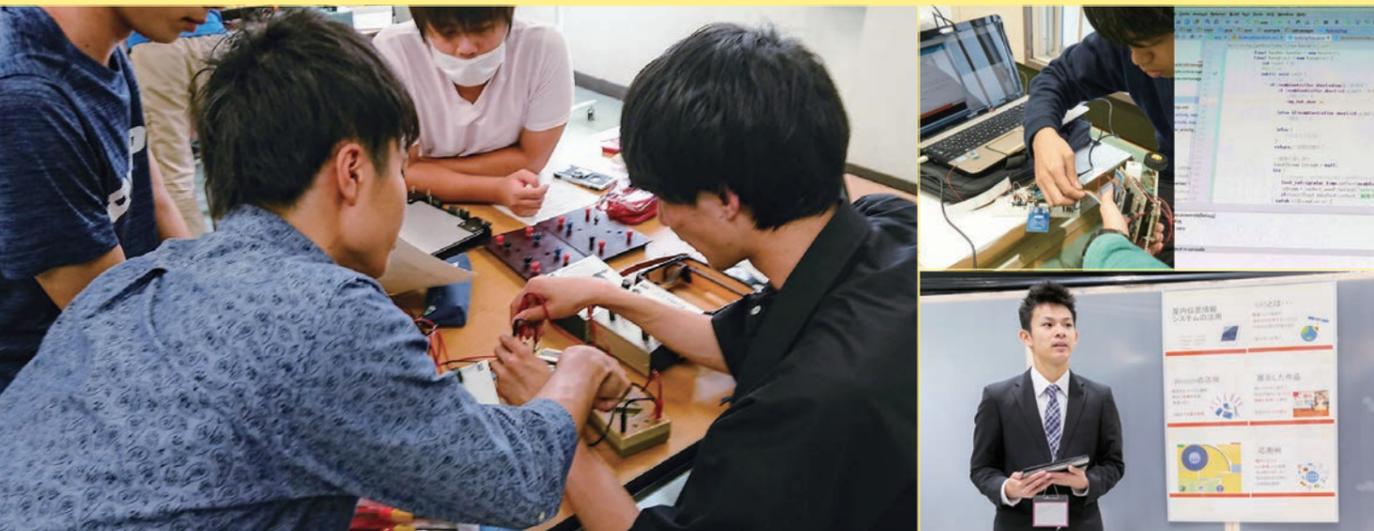


### 取得可能な資格

第三種電気主任技術者\*、第二種電気主任技術者\*、第二種電気工事士\*、基本情報技術者、応用情報技術者  
\*電気情報工学科の所定の単位を取得し条件を満たすと、資格試験等の免除の特典があります。免除を受けられるのは免除認定学科である電気情報工学科のみです。

## 創造性を育む「ものづくり」コンテスト

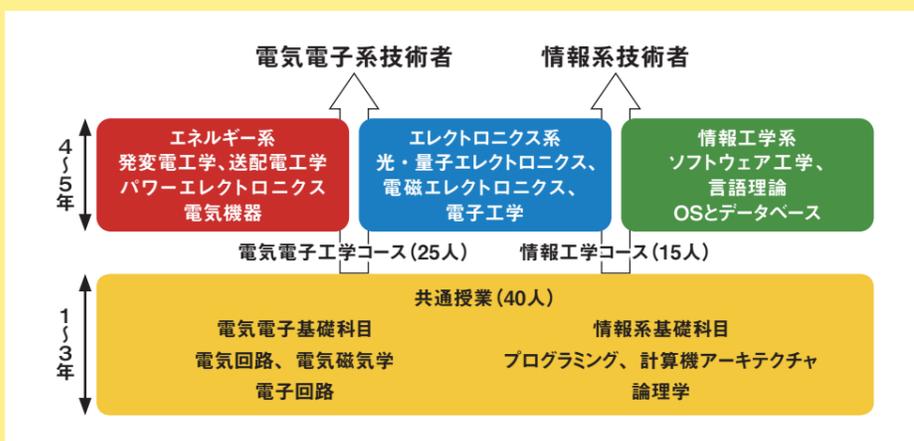
どの学年にも実験・実習をふんだんに取り入れており、実践的な技術力を身につけることができます。特に、実験では「ものづくり」コンテストにより創造性を育てています。学生が自ら創案・計画・製作したコンテスト作品を学外に公開する機会を設け、外部の方から評価を受けます。この取り組みは学外からも高い評価を得ています。



## コース制と少人数教育による充実した先端的教育

3年生までは全員同じ教室で工学の基礎知識を身につけます。

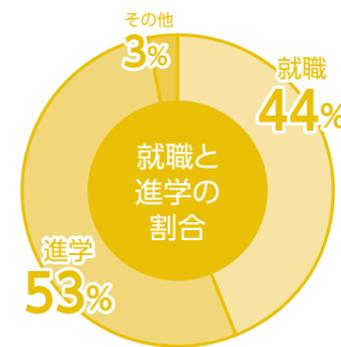
4年生以降はコース制の少人数教育となり、学生は「電気電子」「情報」のいずれかのコースを選択して興味がある分野について深くきめ細やかな授業を受けます。



## 多様な就職先と抜群の求人倍率、高い進学実績

電気情報工学科へは幅広い分野の一流企業から多くの求人があり(求人倍率26.4倍(過去5年間の平均))、就職内定率はほぼ100%です。また、約半数の学生は進学し、進学先のほとんどは国立大学か高専専攻科です。

### 卒業後の進路状況 (過去5年間)



### 主な就職先

NHK(日本放送協会)、大阪ガス(株)、関西電力(株)、キヤノン(株)、中部国際空港施設サービス(株)、中部電力(株)、パナソニック(株)、東海旅客鉄道(株)、東京ガス(株)、東邦ガス(株)、(株)日立製作所、フジテック(株)、三菱電機(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、ヤマハ(株)、(株)ラオテック

### 主な進学先

岐阜高専専攻科、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、筑波大学、千葉大学、東京大学、早稲田大学、電気通信大学、横浜国立大学、静岡大学、名古屋大学、名古屋工業大学、岐阜大学、三重大学、富山大学、大阪大学、熊本大学、広島大学、九州大学、九州工業大学

## 卒業生の声 Voice of graduates



進学先 豊橋技術科学大学  
(現所属: 豊橋技術科学大学教員)  
**後藤 太一**  
 平成17年3月卒業  
 岐阜市立伊奈波中学校出身

中学校ではサッカー部で、練習は皆勤しましたが日本代表は無理そうでした。アイドルの道も無いかと諦めていました。しかし、誰もがそうであるように、私にも他人とは違う何かを身につけたいという思いがありました。中学校で頑張れることといえば勉強で国数理社英を理解する方法をよく学べました。しかし、それは家ででもできるので、高校・大学でそれを続けることに魅力を感じませんでした。そこで、高専を選ぶことで自分のオリジナリティを育てる方向にスイッチしたわけです。日本国内外の大卒・大学院卒の中で、高専卒は少数派です。圧倒的に使える専門性を身につけた数少ない技術者・研究者を目指せるような人間になることで、高専の実用的な実習(実験)と良質な専門授業に求めたということです。今思えば、MIT(マサチューセッツ工科大学)伝統の言葉はそのときのことをよく表しています。「知識は重要だが、有用でなければならない。」



進学先 大阪大学  
(現所属: 日本マイクロソフト)  
**橋口 怜花**  
 平成22年3月卒業  
 滋賀県彦根市立鳥居本中学校出身

中学生の頃の私は、寮での生活に慣れて高専を志望していました。こんな何気ない理由で高専に入学しましたが、私はたくさんのことを経験することができました。高専は5年間クラスが変わらず、部活も続けることができます。テスト前には助け合って必死で乗り越えたり、部活では意見がぶつかって喧嘩をしたり、寮に入れば夜遅くに仲間と語り合ったり…、楽しいことも辛いことも数え切れないほど経験しました。今振り返れば、そんな様々な経験が自分を大きく成長させてくれたと思います。そして社会人になった今、困難に出会ったときはいつも高専での経験を思い出し、前に突き進んでいます。中学生の皆さんの中には、将来やりたいことがまだ見つからないという人もいるかもしれませんが、しかし焦る必要はありません。自分の興味に従ってたくさんチャレンジすると何かが見つかると思いますし、高専ではそれをする事ができると思います。



現所属 株式会社Misoca  
 共同創業者  
**豊吉 隆一郎**  
 平成16年3月卒業  
 岐阜市立長良中学校出身

こんにちは、卒業生の豊吉隆一郎です。約5年前に株式会社Misocaという会社を設立しました。Misocaでは2016年12月15日にRuby bizグランプリ2016で最高の賞であるグランプリを獲得しました。Ruby bizグランプリは日本発のオブジェクト指向プログラミング言語であるRubyのビジネス事例を表彰するグランプリです。事業の成長性やRubyとの関わり、社会貢献度などの点で審査がされます。今回は全29社の応募がありました。MisocaはそのほとんどをRubyで開発していることや、Ruby関連のコミュニティ運営や普及に貢献してきたことなどが高く評価されたそうです。私にとってRubyへの貢献が評価されたことは特に嬉しいことでした。なぜならMisoca社は私と取締役の松本哲の二人で創業しているのですが、創業前に二人で初めて活動をしたのが「たのしいRuby」というRubyの本の読書会の開催だったからです。そして、その読書会をきっかけに地元でのITエンジニア仲間も知識も増え、今の会社設立に繋がっていきました。(ちなみに私が初めてRubyを知ったのは出口研究室にRubyの本があったのがきっかけでした) 今回のような賞をいただき大変光栄に感じています。今後さらにRubyを使ってMisocaを良いものにしていくことで、Rubyコミュニティに貢献を続けていきます。